

新大広報

Public Relations Magazine of Niigata University

2019年夏号 No.212



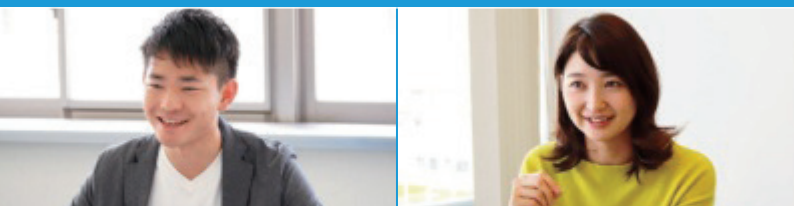
[特集]

新大史 70年のときを越えて



教えて!あなたの
ゼミ・研究室

創生学部



Interview!!
自分の居場所

— 学生編 —
— OB・OG編 —



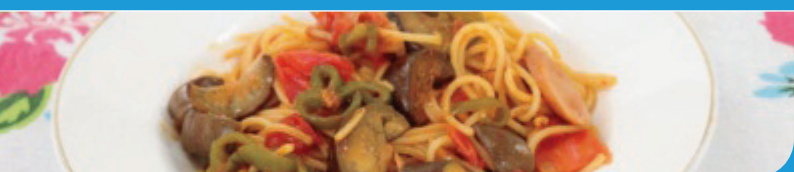
新大ふしぎ発見

工学部棟の前にある
ガラス張りの建物



チャレポ!!
(Challenge & Report)

新潟大学アルビレックス
プロジェクト



ひとりdeli

夏野菜たっぷりナポリタン

新大史 ~70年のときを越えて~

2019年。時代は「令和」へ。そして、新潟大学は昭和24(1949)年の創立から70周年を迎えました!
令和最初の特集では、70年前、そしてこれからの新大にスポットをあてていきます。
前半は新大の歴史を振り返ってみます。開学当時のことや五十嵐キャンパスへの移転に注目!



新潟大学開学式(昭和24年7月19日)

創立当時

新潟大学は、新潟医科大学や新潟第一師範学校をはじめとする旧制諸学校を母体として、国立大学設置法の公布により、昭和24(1949)年5月31日に設置されました。当時は人文、教育、理、医、工、農の6学部、医学部附属病院、看護婦養成施設に加えて、教養課程を分担する新発田、長岡、高田各分校から成り、前身学校の校舎を引き継いだため、キャンパスは県内各地に点在していたそうです。

現在

人文、教育、法、経済、理、医、歯、工、農、創生の10学部のほか、5研究科、医歯学総合病院、脳研究所、災害・復興科学研究所、附属幼稚園・小・中学校(新潟、長岡)、特別支援学校などを擁しています。

今や、日本海側ラインを代表する大規模総合大学に発展!



五十嵐キャンパスへの移転

創立当初、キャンパスは各地に点在していましたが、1960年代になって整備・移転構想が持ち上がり、紆余曲折を経て今の五十嵐キャンパスができたようです。

● 昭和40(1965)年2月

五十嵐地区への移転・統合が決定(理由:各地校舎・設備の老朽化など)

● 昭和44(1969)年2月

移転に反対する声もあり、全学集会で白紙撤回に

● 昭和44(1969)年3月

総合教育研究棟・第1食堂が竣工(移転計画白紙撤回のため完成後1年間放置)

● 昭和45(1970)年4月

教養部と理学部を皮切りによりやく移転開始

● 昭和57(1982)年

教育学部移転を最後に移転・統合完了



五十嵐キャンパス(昭和44年頃)

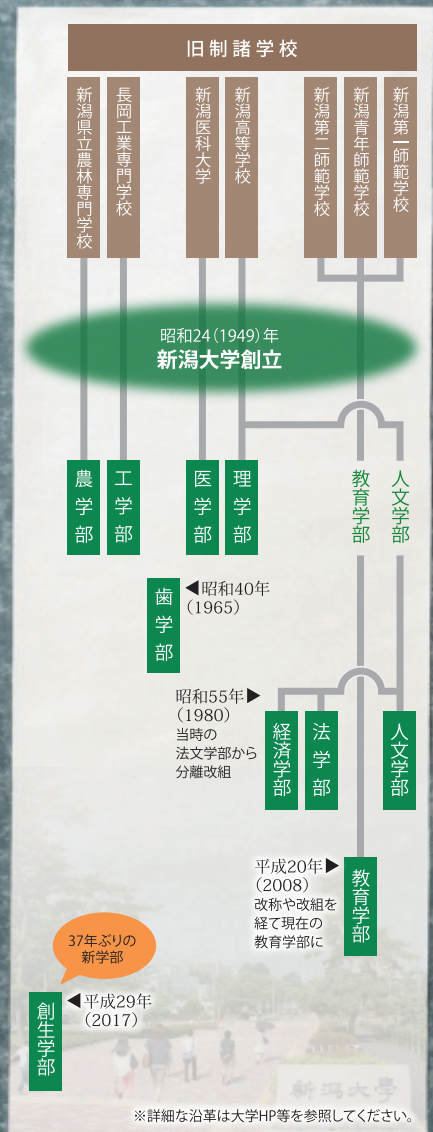


第1食堂(完成当時)

1食は今とほとんど変わらないんですね!

移転当時は「五十嵐砂漠」と呼ばれ、松林と砂地が広がっていたそうです。

各学部の歴史(略図)



あの人も新潟大学と同じ年!?

当時の学食メニュー



新潟大学と同じ年
(1949年生まれ)の**有名人**

- ガッツ石松
- 村上春樹
- 武田鉄矢
- 矢沢永吉
- 松崎しげる
- など

学食ができた頃はどんなメニューがあったのでしょうか…
昭和52(1977)年に入学され、現在法学部教授の
澤田克己先生に当時のお話を伺いました!

当時、五十嵐キャンパス周辺には飲食店やスーパーが少なく、基本的にみんな昼食は学食を利用していました。1食と2食は雰囲気の違い、2食のほうがおしゃれだった印象があります。ベーカリーは、喫茶店として営業していました。



…昭和52年頃のメニュー(お話をもとに再現)…

定食(値段が高い順にS、A、B、E)

・S ご飯、みそ汁、スコッチエッグなど(日替わり)
約340円(現在の物価で約970円)

・E ご飯、みそ汁、コロック、キャベツの千切り
約140円(現在の物価で約400円)

カレー 約170円(現在の物価で約485円)

カツカレー 約200円(現在の物価で約570円)

麺類(ラーメン、うどん、そば)

1番高かったS定食は、たまにしか食べられませんでした。金欠になる月末はE定食を食べていました。普段はカレーをよく食べていましたね。

※第1食堂:昭和44年、第2食堂:昭和50年、第3食堂:昭和54年完成

新潟大学の卒業生

これまでに新潟大学を卒業した卒業生は、

約14万人!!

実は、昨年のNHK朝ドラ「まんぷく」出演の俳優 西村元貴さんも新潟大学の卒業生なんです!

なんと今回、70周年のお祝いのメッセージをいただきました!!

創立70周年おめでとうございます。私は平成24年3月に農学部を卒業しました。

70年の伝統と総合大学である新潟大学での学生生活は、私にとって一生の財産です。

何にでも挑戦できて、たくさん失敗できる貴重な時間を精一杯楽しんでください!

西村元貴さん

ニシムラ モトキ

新大広報の歴史

今号で212号となった新大広報。
実はその歴史は古く、なんと50年!
少しずつ形を変えながら
今に至っています。
目指せ100周年!

昭和44(1969)年6月27日

第1号発行

- 新大広報の発刊にあたって
- 大学問題についての見解の二本立て

五十嵐キャンパスへの移転・統合の時期に、大学の動きを学生・教職員に伝える情報誌として発刊されました。

昭和45(1970)年6月20日

第10号発行

- 学内ニュース
- 学生部だよりのコーナーが登場

昭和49(1974)年1月15日

第30号発行

- サークル紹介が登場



平成20(2008)年冬

第169号発行

- 特集・西区DEアートプラザ
- 新大広報が変わりました!!
- ちょっと自慢の!? キャンパススポット
- イメージソング完成!! 歌で感じよう新潟大学
- Pick Up! 女性研究者支援室
- 健康コラム
- 編集後記

以前は教職員で作成していましたが、学生主体で編集する広報誌に大幅リニューアル!!



学生の主張を取り入れ、職員とも協力して、大学全体でつくる広報誌にするため生まれ変わりました!

令和元(2019)年夏

第212号発行

春に加入した新スタッフも含め、13人で作成しました!

まとめ▶特集前半では、新潟大学の70年の歴史を調査しました。五十嵐キャンパスへの移転や昔の学食のことなど、今まで知ることのなかった歴史を知る良い機会になりました。特集後半では、学長と10人の学部長の先生方にインタビューを行いました!

学長・学部長インタビュー

後半は創立70周年の節目と、「令和」の新しい時代を迎えた今、新大生への思いや新潟大学のこれからの展望について、学長と学部長にインタビューを行いました！ 普段なかなか接する機会の少ない先生方の、学生時代のことや新大の好きなところも聞いてみました！

人文学部



齋藤 陽一 学部長
サイトウ ヨウイチ

- ① 改元も一つのきっかけとして、新しいことにチャレンジしてほしいと思います。人文学ではその「多様性」を理解し、色々なことに気づくための「想像力」を働かせて、幅広い視野を身につけてほしいと思います。
- ② これまでの歴史、思想、文学などをより深く専門的に学べるように、来年度からプログラム再編を行い、さらに学問を追求していきたいと思っています。

③ ボランティアや、オーケストラなどの趣味、他にも様々な活動に取り組んだことがその後の研究に繋がりました。

④ 総合教育研究棟の6階とてもきれいな景色を見渡すことができます。

教育学部



柴田 透 学部長
シバタ トオル

- ① いかなる社会の変化にも対応できる力を身につけた、タフでしなやかな人材になってほしいと思います。そのために勉強はもちろん、それ以外の様々な経験も積んでほしいと思います。
- ② AIの発達によって既存の仕事が奪われてゆく予想されるなかで、学校教員、特に小学校教員はAIでは対応できないといわれています。それでも、AIの発達によって、教育のあり方や教師の役割は変わっていくと思います。そうした教育や教師の在り方の変化に対応できるようにしていきたいと思っています。

③ 大学の先生と古典の勉強会をしたことが、教員の道を選ぶきっかけになりました。

④ 研究室のある教育学部棟の8階そこから見える日本海に沈む夕陽が好きです。

理学部



前野 貢 学部長
マエノ ミツグ

- ① 大学生活は自分の責任で多くの経験ができる貴重な時間であり、その後の人生の出発点になります。時代の区切りは新しいことに挑戦するチャンスでもあるので、様々な活動を通して、成長してほしいと思います。
- ② 変化していく地球環境に人類が対応していくためには、基礎科学の充実が必要であり、理学部はその要です。将来を見据えて、科学によって人類と自然との共生を目指す若者を育成することが理学部の使命だと思っています。

③ 4年生で学問が面白いと感じ、先生との出会いもあり生物学の研究者を目指しました。

④ グラウンド
学生、職員が集ってサッカーをしたのは良い思い出です。

新潟大学長



高橋 姿 学長
タカハシ スガタ

- ① 新大生は非常に堅実で、きちんと自分の考えを持っているので、それをもっと表現して、図々しいくらいに積極的に発言するような人が増えてほしいと思います。また、ライフプランや目標を常に考えながら、失敗を恐れずそれに向けて努力して、多様な能力を持った人になってほしいと思います。

歯学部



前田 健康 学部長
マエダ タケヤス

- ① 知識集約型の現代社会において進取の気性に富んだ新潟の地で、幅広い人間性に立脚した専門的な知識を持ち、ポジティブに物事を捉えグローバルに活躍できる人材になってほしいと思います。
- ② グローバル化や加速する超高齢社会、口内疾病の変化など時代のニーズに対応できる人材育成を行いながら、どのようにしてお口の健康を保っていかれるかを追求し、世界で戦える学部にしたいと思っています。

③ 歯学部の釣りクラブに所属して、佐渡に釣りをしに行ったりしていました。

④ 歯学部A棟の最上階
そこから見える夕日がとてもきれいで好きです。

工学部



小椋 一夫 学部長
オグラ カズオ

- ① なぜ新潟大学に入学したのかを常に考えながら、初心を忘れずにしっかりと勉強してほしいと思います。幅広い視野を持ち物事を広くとらえ、自信をもって学問に取り組んでほしいです。
- ② 工学部は特に規模が大きいので、多くの人にさらに魅力のある教育をしていきたいと思っています。また、世界中の研究者とネットワークを作れる研究者が、新潟からもっと生まれればよいと思います。

③ 学部では陸上部の活動に時間を費やしました。また、わかることが面白く、大学院では、プラズマの研究に熱心に取り組みました。

④ 物質生産棟の5階
景色がとても良くて気に入っています。

Question

- ①新しい時代に向けて、新大生に期待すること ②新しい時代に向けて、新潟大学や各学部の展望
③大学生時代のエピソード ④新大の好きな場所・ところ

法学部



渡辺 豊 学部長
ワタナベ ユタカ

- ①幅広い視野を身につけて、色々なことを知った上で自分は何ができるか、社会でどういう風に役立てるかを考えてほしいと思います。そのために、勉強サークル活動など幅広く挑戦してほしいです。
②今年から法曹コースを設け、弁護士や裁判官などの法曹を目指す学生を積極的に支援しています。一方で、法律や政治を中心に据えて多様なニーズに応えられる学部にしていきたいです。

③英会話サークルなど好きなことに色々挑戦し、一生の友と出会えました。

④農学部の中庭
あそこの桜は五十嵐キャンパス内で一番きれいだと思います。

経済学部



澤村 明 学部長
サワムラ アキラ

- ①「汝自身を知れ」という有名な言葉があるように、自分を知ること。この言葉は自分の無知を自覚し、学ぶことを求めています。また新潟大学の学生には、自分を過大評価している少数と、逆に過小評価している多数を見かけます。それを正す意味でも、自分のことを正確に知ることができるようになってほしいです。
②来年4月に改組の予定です。これまでの経済学部の経済学と経営学だけでなく、新たに外国人とともに「日本」について学ぶプログラム、社会人とともに地域の課題に取り組むプログラムを開設します。幅広くさまざまな人材養成をできれば、と考えています。

③実は劣等生でした。就職の斡旋もしてもらえず、大学院への進学も認めてもらえず、他大学の大学院へ進学し、そこを中退して最初に就職した会社は半年で倒産状態になり、失業を経て地方公務員になって……とRPGのような青春でした。

④中門の前のバス停
狙ったのが狙っていないのか、そのブラックユーモアが好きです。

②歴史があり大規模総合大学である本学は、日本海側のアカデミアの要であり、地元の新潟で進学したいと考える優秀な学生の受け皿としても重要な役割を担っていて、今後もそうあり続けてほしいと思います。また、外国では環東アジア地域、特にロシアとの連携のさらなる強化や、国内でも佐渡を舞台にした教育研究拠点の拡充、平成30年度に開講した日本酒学の発展にも期待しています。

③スキー部とダンス部に所属し、そこで一生の友と出会いました。また、2年生の夏休みに新潟から船でソ連に渡り、ヨーロッパの大学を訪れたことは大変貴重な体験でした。

④五十嵐キャンパスの第1食堂
よく友人と話し、学生の頃はそこから海が見えました。
旭町キャンパスの赤門
松の木は昔と変わらず残っていて、学生時代を思い出します。

医学部



染矢 俊幸 学部長
ソメヤ トシユキ

- ①主体的に物事に関わること。課題を解決するための努力や工夫を自らしてほしいと思います。そして、「親切さ」を大切に、医学を通して人類の幸福に貢献する人材となることを期待しています。
②歴史と伝統のある国立大学医学部として、そこで培われた地域医療を担う責任感、医療人としての覚悟・誇りを持ち、新潟を基盤として世界で活躍する人材をこれからも輩出していきたいと思っています。

③大学でテニスに熱中し、努力や工夫をすることの大切さを身をもって学んだこと。それがとても大切な体験になっています。

④人の良さ
我慢強く、芯が強い新潟の県民性が好きですね。

農学部



末吉 邦 学部長
スエヨシ クニ

- ①色々なことに興味をもち、積極的に地域や外国に出かけ、視野を広げてください。特に農学部の学生には、今も卒業後も持続可能な社会のあり方について考えつつ生活してほしいと思っています。
②教員と学生が一緒になってどんどん研究を進めてほしいです。その上で、広い領域で多様な学びができる教育をより充実させていければと思います。

③仲間と一緒に、今にも壊れそうな車で旅行したり、きついアルバイトをしたり、何度も徹夜して研究に没頭したりしたことが思い出です。

④農学部の中庭「嵐丘庭」
農学部同窓会60周年記念事業として整備され、同窓会より寄贈していただきました。

創生学部



鳴海 敬倫 学部長
ナルミ タカツネ

- ①常にアンテナを張り、専門分野だけでなく広い視野を持って、時代の変化に対応できる学びをしてほしいと思います。
②これから増えてくると思われる、高校で課題探究型の学びをしてきた人たちの受け皿となり、対応力を持って社会で活躍できる人材を、PBL中心の学修で育てていきたいと思っています。

③ごく普通の大学生でしたが、元々流体に興味があり大学院に進み、縁があって研究者の道に進みました。

④総合教育研究棟の中庭
外国の古い大学の中庭とはいきませんが、春には桜がきれい好きです。

教えて!あなたのゼミ・研究室

総合大学である新潟大学にはさまざまなゼミ・研究室があります。このコーナーでは数あるゼミ・研究室の中から気になるゼミにスポットを当て、先生・学生から魅力を引き出しちゃいます。

創生学部ができて3年目の今年、3年生を対象にしたゼミが開講されました。今回はその中から堀籠ゼミと澤邊ゼミにお話を伺いました。

創生学部 堀籠ゼミ

こんなことを学んでいます

創生学部のゼミは、他学部で開講されているような「先生の研究分野に興味がある学生がそのゼミを希望して入る」という形式のゼミではありません。実際に、私は経営学の中でもマイナーな「医療経営学」が専門ですが、私のゼミに所属する学生の実業は本当に様々で、経営学が専門ではない学生も所属しています。このゼミでは、自分が専門とする分野の知識を使ってどのような社会課題にアプローチできるのかという観点において、経営学やマネジメントのフレームワーク(思考的枠組み)を活用して、人々のニーズに転換していくということを体験してもらえればと思っています。現在は、ゼミの学生10人を2チームに分け、地域資源を活かした観光まちづくりのプランや、地場産品を用いた新しいビジネスアイデアの創出を目指すプロジェクトと、個人の研究とをそれぞれで進めていくという二本立てで進めています。



堀籠先生が求める学生像

高い理想に向かって邁進するのはとても素敵なことだと思いますが、反面危ない部分もあると思います。車の運転でも、ハンドルに遊びがあるから調節しながら運転し、事故を起こさないのであって、理想に向かって一直線に行ってしまうのは、いわば遊びのないハンドルと一緒にです。普段から学生に言っているのですが、遊び心を持ってほしいと思います。頑張るのは大事なことですし、時として自分の身を削ってでも頑張らなければならないときは必ずありますが、心のどこかに余裕を持って、広い視野で物事を見てほしいです。食わず嫌いをせず、自分にとって初めてのことでなくても試してみてください。



堀籠 崇先生
ホリゴメ タカシ



ゼミ生に聞いた!

堀籠ゼミの魅力!

- ・ゼミ生同士の仲が良い
- ・発言しやすい
- ・先生と学生の距離が近く、アットホームな雰囲気
- ・分野にとらわれず様々なことができる
- ・グループで何かに取り組んでみたい人におすすめ

創生学部 澤邊ゼミ

こんなことを学んでいます

創生学部全体として「課題解決」をテーマにしていますが、その中でもこのゼミでは人材育成を主なテーマとして取り組んでいます。研究者だけではなく、現場の方や専門家など関係する人たちと共同で研究していくので、学生にも当事者意識を持って取り組んでもらうことになります。現場を見て課題を設定し、自分で何をやりたいか考えてプロジェクトを決め、どのような方法でアプローチをしていくのかを勉強し、データを取ってまとめる、というのが3~4年生の主な流れです。人材育成というと学校が近いかもしれないし、地域の人たちの意識に関することなら自治体、大学同士で協力して高等教育を向上させようといったこともあれば、ITなど最先端の技術を使う企業と…といったように様々なところで連携しています。人材育成に関わりがあるようなものであれば基本的に内容は問いませんので、学生によって取り組む内容はバラバラです。

教員の専門分野にそのまま取り組んでもらうのではなく、学生がやりたいことを実現できる環境を教員が提供していくというのがスタンスになっています。



澤邊先生が求める学生像

個人的な興味関心をきちんと持っている人、粘り強く取り組む意識を持っている人、企画・調整能力を身に着きたい人、自分の強みと弱みを理解できる人の4点です。すべてを満たしていなくても構わないので、この4つを見て1つでも「こうなりたい」と感じられれば大丈夫です。基本的には専門知識やスキルよりもこれらの点を重視しています。遠くにある理想像ではなく、身近にある疑問に気づくことが大切だと考えていますので、地道に頑張り続けられる学生と学んでいきたいと思ひます。



澤邊 潤先生
サワベ ジュン

ゼミ生に聞いた!

澤邊ゼミの魅力!

- ・先生の明るい雰囲気がそのままゼミの雰囲気になっている
- ・テーマが自由で好きなことができる
- ・ゼミ生同士の仲が良い
- ・人数が他のゼミより多いので、その分色々なテーマがあって面白い
- ・プロジェクトなど、自分で何かやってみたい人におすすめ

スタッフの感想

取材前は、創生学部がどんな学部なのかあまり分かりませんでしたが、先生方のお話から、学生の主体性や自由な発想を尊重した学部だと感じました。

また、学生の皆さんはとても活発な方が多い印象でした。ゼミが発足してまだ日が浅いため、これからの動向にも注目していこうと思ひます!

自分の 居場所

Interview!!

—— 学生編 ——

大学生活を送るうえで、やりがいや目標を持って活動している、輝く新大生を紹介するこのコーナー。
今回は“Niigata選挙カレッジ”の代表として活躍している福原琢未さんにお話を伺いました。

福原 琢未

当事者意識のある生活を

福原 琢未

法学部3年

福原 琢未さん

(フクハラ タクミ)

福島県郡山市出身。

Niigata選挙カレッジの代表として活躍中。趣味は洋画鑑賞。

長期インターン・語学研修プログラム参加など、積極性をもって学生生活を送っている。



QUESTION >>>

● 新大の好きな場所…第2食堂

夜も営業しており、学校に遅くまで残るときによく利用しています。

1 代表就任あいさつ

2 全国フォーラムで選挙カレッジの活動紹介をしている様子

3 市議会議員との意見交換会

—Niigata選挙カレッジ(以下、選挙カレッジ)はどのような団体ですか。

選挙カレッジは「新潟県明るい選挙推進協議会」が実施している活動の一つで、主に若者の選挙啓発を行っている団体です。現在は33名の大学生で活動しており、うち30名が新大生です。法学部生が22名と大半を占めていますが、人文・経済・教育・工・創生学部生も参加しています。選挙における日本の若者の投票率を上げることや、若者が政治や社会問題を身近に考えるきっかけとして若者目線での啓発が必要と考え、活動しています。

—福原さんはなぜ選挙カレッジに加入したのですか。

大学に入学してから新しいことをやってみたいと思ったからです。もともと政治に関心があったというわけではないですが、法学部に所属していることもあり、政治や社会問題をしっかり考えていかなければならないと思っていた中で、選挙カレッジという団体を知り、入ってみようと思いました。

—これまでで印象に残っている活動は何ですか。

平成30年の新潟市長選挙において、新潟市の協力のもとで行なった「子ども投票所」です。これは、小さいうちから投票体験をして欲しいという思いから、中央区の期日前投票所があるNEXT21で、子どもを対象に「ご当地ゆるキャラ選挙」を実施したものです。総務省のデータから、子どもの頃に親と一緒に投票所へ行ったことがある人の投票率は、そうでない人の投票率に比べて高いということが分かっています。そこに着目して、どうしたら親子で投票に参加してもらえるかを考え、企画しました。これまでは、小学生や未就学児を対象としたイベントがなかったので、子どもが興味を持ってくれるためのコンテンツや運営をどうすればよいか悩み、教育学部の学生や選挙カレッジのメンバーと議論を重ねました。そして、ゆるキャラ誘致や親子で楽しめるクイズな

どの工夫を行い、メディアに取り上げていただいたこともあり、目標値をはるかに上回る700もの票を集めることができました。

この他に、新潟大学で開催された若手市議会議員との交流会も印象に残っている活動の一つです。市議会議員の議員報酬ややりがいなどのぶっちゃけ話を聞くことができ、とても面白い会でした。身近にある社会の問題点等を認識することで、その解決につながる選挙は他人事ではないということを改めて実感しました。

—これまでの活動を通じて得たものはありますか。

自分に自信がついたことだと思います。加入して最初に行なった高校での出前授業で、数百人もの学生の前で話したのですが、初めての経験だったのでとても緊張してしまい、話したいことをうまく伝えられませんでした。その後、選挙カレッジの宣伝のためにテレビに出演させていただいたり、全国各地にある私たちのような団体が集う場で、選挙カレッジについてのプレゼンや情報交換をさせていただいたり、数多くの経験をしたことで自信ができました。また、様々な企画を通して、自分たちで考えたものが形となり、社会貢献につながったという充実感も得ることができました。

—活動をされている中で大変だと思うことはありますか。

「これをやれば、投票率や主権者の当事者意識が上がる」というような正解が、選挙啓発にはないということです。また、結果が目に見えないため、イベントでのアンケートで良い回答を得られ、選挙啓発の手応えを感じたとしても、本当にそれが一人ひとりの選挙への当事者意識の向上や投票行動につながったかどうかは分かりません。仮に投票率が上がったとしても、私たちの活動が影響していると言い切る事は出来ず、選挙啓発はとても難しいと思います。しかし、私たちは、若者の社会へ

の関心を「0から1にする」という理念を大切に、試行錯誤を繰り返しながら、これからも選挙啓発に取り組んでいこうと思っています。

—若者の投票率が低いと言われていますが、その原因は何だと思いますか。

若者の政治に対する関心が薄れていることだと思います。いま、高齢者の投票率が高く、選挙に勝つために政治家はそれらの人に対する政策課題を中心に掲げるため、若者向けの政策が少なくなっている現状があるといわれています。そのため、若者が政治に対する当事者意識を持つことが重要だと思います。

—福原さん自身の今後の目標はありますか。

メンバー間で温度差が生まれないように、それぞれが力を発揮できるような出番や信頼関係のある居場所を作ることです。先輩や選挙カレッジを担当して下さった県職員の方が言っていた「団体にはメンバーの出番と居場所が大事」という言葉が印象に残っていて、私も代表という立場になり、その言葉を意識して団体運営をしていきたいと思っています。

—最後に、新大生へメッセージをお願いします。

3年前に選挙権年齢が18歳に引き下げられ、待機児童や奨学金といった若者に関わる問題が起こっている現在の日本では、若者である皆さんの意思表示や社会参画が、これからの未来を大きく変える状況にあるといえます。そのため、一人ひとりが社会に対する責任や当事者意識を持ってほしいと思います。

また、過去の失敗や成功体験は、これからの自分を支えてくれるものであることを、選挙カレッジの活動を通じて実感しました。ですので、いろいろなことに挑戦して、多くの経験をしていくことが大切だと思います。

インタビューを終えて スタッフの感想

福原さんは社会に対して強い当事者意識があるので、熱意を持って選挙カレッジの活動ができているのだと感じました。お話を伺い、私たちの生活と政治は直結しており、社会に関心を示すことは大切だと再認識しました。

自分の Interview!! 居場所

— O B ・ O G 編 —

将来どんなことをしたいか迷っている新大生に向けて、社会で活躍する卒業生からお話を伺い紹介するこのコーナー。
今回は、経済学部卒業生であり、現在、株式会社新潟総合テレビ (NST) の報道部でアナウンサーとして活躍する真保恵理さんにお話を伺いました。

諦めないで夢を叶えて

Interview



真保 恵理さん

(シンボ エリ)

平成27年3月に経済学部を卒業。現在は、株式会社新潟総合テレビの放送企画本部報道部に所属。毎週土曜夕方6時からの情報番組「Smile Stadium」に出演するなど、アナウンサーとして活躍中。



1



2

QUESTION >>>

● 新大の好きな場所… 人文社会科学系棟の経済学部資料室

留学する際に、情報収集のためによく通っていました。
資料室の職員の方にお世話になった思い出があります。

- 1 お仕事の様子。スタジオで原稿を読み、ラップタイムを測っています。
- 2 カナダに留学中、アメリカへ旅行に行き、スカイダイビングに挑戦!

株式会社新潟総合テレビ(NST)

昭和43年開局。「Niigata Smile TV(にいがたスマイルティービー)」のキャッチフレーズで、新潟県を放送対象地域としたテレビジョン放送事業を行っている。フジテレビ系列であり、リモコン番号は8。平成31年3月、新潟の活性化を推進する「大好き!にいがた!」キャンペーンで、新潟大学ダブルホームとタイアップし、新潟の魅力発信、活性化推進に向けて始動した。

—まずは、現在のお仕事内容について教えてください。

アナウンサーとして、ニュースを読むことはもちろんですが、実際に取材に行き原稿を自分で書きます。また、情報番組ではロケに行きますが、ロケはニュースの取材とはまた違って、美味しいものを食べたり…(笑)ということもあります。他には、新潟大学をはじめ母校の入学式や卒業式といった式典などの司会を務めることもあります。

—アナウンサーになろうと思ったきっかけは何ですか。

スポーツの感動を伝えたいと思ったことです。昔からスポーツが大好きで、小学生の頃は野球部に入っていました。よくテレビで野球を観ていたのですが、ある年のセ・リーグの優勝を決める試合で、最後にサヨナラ勝ちした試合を観て「スポーツってすごいな」ととても感動しました。その試合を実況していたスポーツキャスターの様子を見て、私もこういう風に周りに感動を伝えられるようになりたいと思いました。小さい頃から漠然とそう考えていて、就職活動の際に、スポーツキャスターになるには、アナウンサーになってスポーツ担当として携わるという道があることを知りました。ですので、ゆくゆくはスポーツに携わりたいという気持ちでアナウンサーを志しました。

—お仕事を通して学んだことはありますか。

その場の発見を大切に、ということです。取材に行く前に取材対象について色々調べるのですが、頭の中でイメージ

を固めすぎると新しい気づきが得られないということが分かりました。ですので、準備はしていくけれど、その場で見て感じたことを大切にしなければいけないと感じました。また、人との繋がりの重要さも改めて実感しています。取材先で知り合いに会い、会場の事情や様子を教えてもらうなど助けていただいたこともありました。

—やりがいを感じる瞬間はどんな時ですか。

街で声をかけてもらえる時です。番組を観てくださっているんだな、と思うのもっと頑張ろうという気持ちになります。また、母校で司会のお仕事に呼んでいただいたり、イベントで地域の方と触れ合ったりする時には、親近感を持ってもらえるんだなと嬉しく思います。

—続いて、学生時代のことについてお伺いします。どんな大学生活を送っていましたか。

色々な体験をしようと思って過ごしていました。経済学部だったのですが教員免許を取ったり、カナダに留学したり。テニスサークルに入っていましたし、バイクの免許も取りました。とにかく今しかできないことをしようと思い、アクティブに動いていました。

暇でじっとしていることが苦手で、手帳に白い日があると勿体ないと思っていました。とにかく何か予定を見つけてどこかに出かける大学生活でした。

—充実した大学生活を送られていたのですね。その時の経験が今のお仕事に活きていると思うことはありますか。

教育実習の経験は取材やイベントで子

どもと接する時、留学の経験は外国の方にインタビューする時に活かしているなと思います。また、色々なスポーツをやっているルールが分かることも、取材で生きていますね。色々な経験をしたからこそ今があると感じています。

—これからの目標を教えてください。

地元新潟のスポーツを皆で応援できるような雰囲気を作ることです。番組を通じてスポーツに興味を持ってくれる人を増やしていけたらいいなと思います。また、NSTは地元で根差した番組作りを強く意識しているので、より親近感を持って番組を観てもらえるようになったら嬉しいです。

—最後に、新大生へメッセージをお願いします。

とにかく色々なことを経験してほしいです。「できないことは無いな」とアナウンサーになってから思うようになりました。新潟からアナウンサーになる人はあまりいないですし、本当にアナウンサーになれるのかなと思いながら試験を受けていました。沢山落ちましたが何とかアナウンサーになることができて、諦めなければ何とかなると学びました。東京の大学に行く方が可能性が広がりそうな気もしますが、実はそんなことはなくて、新潟でしかできない体験も沢山あります。色々な経験をして、諦めないで夢を叶えてほしいです。

インタビューを終えて スタッフの感想

アナウンサーのお仕事は話すだけでなく、取材や原稿作りなど多岐に渡りながらも、笑顔でテレビに出演されていると知り感動しました。また、取材中もよく話しかけてくださり、和やかな雰囲気です。取材することができました。学生時代の経験の貴重さを改めて実感し、私も色々なことに挑戦してみたいと思いました。

新大 ふしぎ発見

このコーナーでは、知っていそうで知らないこと、身近にあるけど用途がわからないものなど、新大の「ふしぎ」を解明しちゃいます！今回は工学部棟の前にあるガラス張りの建物について調査しました！



Q ガラス張りのあの建物はなんでしょう？

工学部生なら誰もが見たことはあるであろう、コンクリート造りのガラス張りが印象的な、あの建物。学生がいることは少ないしどんな建物なんだろう…？ということで、工学部同窓会 坂井さんに伺いました。

A.工学部と同窓生・地域をつなぐための交流施設です！

この建物は「新潟大学科学技術交流悠久会館」という名前で、一般的には「悠久会館」と呼ばれます。工学部創立80周年(前身校を含む)を記念して、卒業生と地域の企業による寄付で、平成19年3月に完成しました。設計は工学部の西村伸也教授が担当し、西村先生の研究室の大学院生34名も参加しました。平成20年には、すぐれた建築作品を設計した全国の建築士事務所を表彰する、日事連建築賞(一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会主催)の小規模建築部門において、優秀賞を受賞しています。悠久会館には卒業生・地域と在校生とが活発な関係を結べるよう、工学部の新たな玄関口としての役割があり、工学系大学院生の奨学研究費や国際会議出席旅費等の支援を行う「工学振興会」など、学外の機関も入居しています。



悠久会館の中はとってもおしゃれ！

悠久会館はコンクリートを基調として、先端的技术を展示するアーカイブス、学生がデザインした机やイスなどが設置してあり、温かい雰囲気も感じられるおしゃれな内装になっています。坂井さんは勉強や息抜きなどで気軽に来てほしいとおっしゃっていましたので、ぜひ悠久会館を訪れてみてくださいね！



このコーナーは、新大広報学生スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ魂あふれるレポートである!!
今回は新潟大学アルビレックスプロジェクトに潜入!
スタジアムをオレンジに染め上げろ!

Report ◀

▶ Interview

新潟大学 アルビレックスプロジェクト

アルビレックス新潟とは…? 新潟市および聖籠町をホームタウンとする日本プロサッカーリーグ(通称Jリーグ)のクラブチーム。現在はJ2(3部制のリーグのうち2番目)に所属。

試合観戦に参加し、一緒にアルビレックス新潟を応援してきました!

ホームスタジアムである、デンカビッグスワンスタジアムでの試合でした!



▲選手入場の際、サポーターが斉に色紙を掲げると、なんとコレオグラフィー(人文字)が! 圧巻です!

▼色々なチャント(応援歌)で応援しました! どれも初心者でもすぐに覚えられました。



ゴールが決まった瞬間のスタンドの一体感は最高です!

アルビレックスのゴール!!



試合結果は…
2-0でアルビレックス新潟の勝利でした!

スタッフ感想

スタジアムでのサッカー観戦は

初めてでしたが、約2万人のサポーターが一丸となって応援する一体感を感じることができました! ピンチの時こそ一生懸命応援する雰囲気や、ゴールが決まった後に自然とハイタッチが沸き起こる雰囲気がとっても素敵でした。また、アルビレックスプロジェクトの皆さんは約90分間の試合中ずっと応援の声を出し続けていて、アルビレックス新潟への愛がひしひしと伝わってきました。今後、個人的にも試合観戦に行ってみたいと思うほど楽しかったです!



●法学部3年
鈴木 翼さん
スズキツバサ



●医学部2年
佐藤 未来さん
サトウ ミカ

Q 活動内容について教えてください!

鈴木●新大生にアルビレックス新潟(以下、アルビ)に親しみを持ってもらうために、大学内のローソンにポスターを掲示したり、観戦イベントを企画して一緒に観戦したりしています。他には、新潟駅南口にバナーを掲揚したりと、新潟の街にアルビをもっと広めていく活動も行っています。

佐藤●また、NPO団体と協力して大学病院や民間病院でのビューイングを実施したり、メンバー同士でフットサルをはじめとしたスポーツを楽しんだりする機会もあります。

Q 入部したきっかけは何ですか?

鈴木●新歓試合に行ったことです。初めてビッグスワンに行き、生でサッカーを見て、スタジアムの雰囲気やサポーターの皆さんの熱さに惹かれました。

佐藤●私は小さい頃からアルビが好きだったからです。自分でもよく試合を観に行っていたのですが、大学の皆と試合を観るのも楽しいなと思って入りました。

Q サークルの好きなところを教えてください!

佐藤●アルビに関わる活動ができることです。私は元々アルビが好きなので、同世代の人と一緒に応援できたり、アルビのためになる活動ができたりするのが楽しいですね。

鈴木●アルビを通じて色々な人と知り合えるところです。アルビが好きな人はもちろん、サッカーが好きな人、スポーツが好きな人…それら他大学のプロジェクトの人*と繋がりができたのも嬉しく思います。*新潟県内の他の大学でも、同じような団体が存在するところもあるそうです。

Q 今後、どんなサークルにしていきたいですか?

佐藤●今までアルビに興味が無かった人や県外から来た人にも、アルビを好きになってもらえるきっかけとなるサークルになれたらいいと思います。

鈴木●大学内はもちろん、大学外の人にもアルビを広めていけるような存在にしたいです。



- 部員数/50人
- 活動日時/不定期(土日中心)
- 活動場所/ビッグスワンや大学周辺
- WebサイトURL/
<https://albirexproject.wixsite.com/albirex-project>
- Twitterアカウント/@shindai_alb_pr
- Instagramアカウント/@shindai_alb_pr



※delikatesse(独)=美味しいもの

ひとりdeliのコーナーでは、多忙な毎日を送る新大生へのお手軽レシピを紹介し、食に関するお悩みを解決しちゃいます。
今回は、暑い夏もこれで乗り切れる!? 夏野菜をふんだんに使ったナポリタンをご紹介します。手軽なのに栄養もしっかり取れるので、ぜひ試してみてください♪

夏野菜を使った
献立作りに戸惑う
鈴木さん



夏野菜たっぷり ナポリタン



夏野菜たっぷりナポリタン

材料(1人分)(224円)

- スパゲッティ…100g (50円)
- 玉ねぎ…1/8個 (30g) (7円)
- トマト(中)…1個 (135g) (74円)
- ナス…1本 (80g) (50円)
- ピーマン…1/2個 (30g) (19円)
- ウインナー…3本 (25g) (24円)
- トマトケチャップ…大さじ4杯 (60g)
- サラダ油…大さじ1/2 (7.5ml)
- 塩・こしょう各少々

①鍋にたっぷりのお湯を沸かし、塩小さじ1(分量外)を入れたあと、スパゲッティを好みの硬さにゆでる。

Point! 炒めるときに汁気を吸うため、麺は固めにゆでるとベター。

②ソーセージは斜め切り、玉ねぎは薄切り、ナスは厚さ1cmの半月切り、ピーマンは輪切りにし、トマトは1.5cm角に切る。

③フライパンでサラダ油を熱し、ソーセージ、玉ねぎを炒める。玉ねぎが透き通ってきたらナス、ピーマンを入れ、塩・こしょう、トマトケチャップで味つける。

④スパゲッティを入れて炒め合わせ、さらにトマトを加えてさっと炒める。



コラム1

ナポリタンは実は日本発祥!?

ナポリタンの起源に関しては諸説ありますが、横浜のホテルで誕生したという一説があります。もともと同ホテルの外国人料理長が考案した「スパゲッティナポリタン」がありましたが、このナポリタンには肝心のケチャップが入っていませんでした。現在の「ケチャップを使ったナポリタン」は、彼の弟子だった日本人シェフがトマトソースをケチャップで代用し、彩りを添えるためにピーマンを加えるという独自の工夫をしたことで、ケチャップ味の元祖ナポリタンが完成したといわれています。

コラム2

意外と知らないテーブルマナー

スパゲッティを食べる際のマナー、皆さんご存知ですか? スプーンを使って麺を巻き付ける姿をよく見かけますが、実はそれはイタリアではタブーとされています。フォークだけで巻き取るのがうまくできないという人は、次のようにやってみましょう。フォークを垂直気味に立て、先端を皿につけたまま麺を巻き付けていきます。巻き取る量は一口分まで。また、蕎麦のようにズルズルと音をたてずすり上げてはいけません。正しいマナーを身に付け、食事を楽しみましょう♪





編集室便り

不定期掲載でお届けしているこのコーナー。
今回は新たに加入した学生スタッフを紹介します。

意気込み!

仲間と協力しながら
頑張ります!



教育学部1年
梅津 秀平 うめつ しゅうへい

- 1 説明会に参加してみても興味が湧いたから
- 2 ひとりdeli
- 3 新大祭常任委員会、生協学生委員会、アルビレックスプロジェクト
- 4 新潟市街地を見て回ることに
- 5 手品、ボードゲーム

意気込み!

より良い新大広報を作れるよう
全力で頑張るので、これから
よろしくお願いします!



法学部1年
藤田 樹 ふじた たつき

- 1 スタッフ募集のメールを見て興味を持ったから
- 2 新大ふしぎ発見
- 3 PURPOSE
- 4 新潟に来たばかりなので、色々な場所に行ってみよう
- 5 揺れる電車で本を読むこと

意気込み!

ずっとやりたと思っていた学生スタッフに
加入できたので、楽しみながら
取り組んでいきたいです。



人文学部1年
今井 英 いまい はな

- 1 高校生の時に、新大HPで新大広報を見て
- 2 新大ふしぎ発見
- 3 天文部、国際ボランティアサークル、L.A.club
- 4 新潟市外に出かけること
- 5 美味しいものを作ったり食べに行ったりすること

意気込み!

いい広報誌を作れるように
頑張ります!



人文学部1年
池田 日向子 いけだ ひなこ

- 1 広報関係の職業に興味があるため
- 2 ひとりdeli
- 3 PINCE、日韓交流サークル
- 4 留学
- 5 ダンス

意気込み!

頑張ります。
よろしくお願いします。



創生学部1年
布施 英梨花 ふせ えりか

- 1 新しいことをやりたかったから
- 2 教えてあなたのゼミ・研究室
- 3 映画倶楽部
- 4 溜まっている本を全部読む
- 5 難しい本を読むこと

Question

- 1 学生スタッフになったきっかけ
- 2 担当してみたいコンテンツ
- 3 他の所属団体
- 4 この夏やりたいこと
- 5 趣味・特技



New Face!

今号から新スタッフが加入しました!
新たなメンバーとともに、
新潟大学の魅力を発信していきます!

新大広報 裏話

Interview!! 自分の居場所

OB・OG編

取材中、真保さんの先輩の鈴木秀喜アナウンサーも同席してくださいました！また、スタジオのMC席に座り、アナウンサー気分を体験させていただきました！



チャレポ!!

実は、取材に同行した職員スタッフも根っからのアルビファン！アルビレックスが新潟県民へ深く浸透していることを改めて認識しました。



新大広報 公式アカウント Twitterはじめました

Follow me!

この春、新大広報のTwitterアカウントが誕生しました!! 発刊情報や配布場所の案内、普段の活動の様子、さらにはTwitter限定の動画コンテンツもつづやきます。ぜひチェックしてみてくださいね♪



新大広報
【公式】



@NU_magazine_

新潟大学公式SNSアカウント



Twitter

大学の日常やイベントを日々ツイート♪

@Niigata_Univ_O



Instagram

フォトジェニックな画像で大学の新たな魅力を紹介!

@niigata_university



Facebook

大学の取り組みや学生の活動を紹介!

@niigata.univ

私たちと一緒に新大広報を作りませんか!?

スタッフ
募集!!

新大広報では随時、学生スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

応募方法 下記のメールアドレス宛てに①学部・学年・学籍番号・氏名、②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

新大広報編集室：nu-press@adm.niigata-u.ac.jp

編集後記

今号は、新潟大学の創立70周年からヒントを得て特集を企画しました。みなさんが手にして下さったこの新大広報にも、50年という長い歴史があることをご存じでしたか? 春からフレッシュな1年生が加わり賑やかになった学生スタッフで、より良い誌面をお届けできるよう、これからも頑張っていきます!

新大広報編集長 目黒 恵梨

【学生スタッフ】

目黒 恵梨 (法学部3年)

鈴木 悠希 (創生学部2年)

布施英梨花 (創生学部1年)

梅津 秀平 (教育学部1年)

石栗 慎也 (学生支援課)

高橋 映華 (人文学部3年)

小野木靖華 (創生学部2年)

今井 英 (人文学部1年)

藤田 樹 (法学部1年)

菅原瑠璃香 (学生支援課)

鈴木 蒼生 (工学部2年)

関根 梓 (医学部2年)

池田日向子 (人文学部1年)

嶋田 麻美 (法学部4年)

青柳 卓也 (広報室)

【職員スタッフ】

個人情報の取扱いについて

■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。

■アンケートや話面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。

■ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことにより、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。

【新大広報 Back Number】

新大広報

検索

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>

2019年夏号 [No.212]

2019年7月発行

編集・発行 / 『新大広報』学生スタッフ

新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷 / ㈱第一印刷所

